

平成 2 4 年 第 1 9 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平成 2 4 年 1 1 月 2 7 日
招 集 場 所	役場 第 3 会 議 室
開 会	1 1 時 0 0 分 委 員 長 宣 告
出 席 委 員	立 脇 教 育 委 員 長 福 田 教 育 委 員 井 上 教 育 委 員 川 上 教 育 委 員 内 田 教 育 長
欠 席 委 員	
教 育 長 の 報 告	<p>別紙資料による</p> <p>○事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回日野高校の在り方を考える会 ・ 西部地区市町村教育長連絡協議会 ・ 西部広域行政管理組合 ・ 臨時会 文化センター照明改修工事について <p>○行事予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郡教育長会 ・ 郡教育委員研修会 ・ 町議会定例会 ・ 教育委員会 教育懇話会

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
日程第1 議案第41号 平成24年度 日南町教育費 12月補正(第 6号)予算につ いて	委 員 長	日程第1議案第41号について説明を求める。
	教 育 長	日程第1議案第41号 平成24年度日南町教育費12月補正(第6号)予算について承認を求めるもの。 詳細について事務局から説明する。
	事 務 局	※資料に基づき詳細説明 教育委員会事務局一般管理事務 (人事異動に伴うもの) 生き抜く力育成事業 (スクールソーシャルワーカーの勤務日数増の為) 青少年健全育成事業 (ソフトテニス2件・少年野球3件) 図書館管理運営事務 (ふるさと納税の寄付金・図書館理システムの扶養額の減額) 小学校振興事業 (派遣費補助)
	委 員 長	説明を受けたが、質疑はあるか。
	委 員	人事異動による減額については人が減ったということか。
	教 育 長	社会教育室長が病休での休職という事になっているが、補充された主任との給与差があるため、その差額が減額になるためである。
	委 員 長	スクールソーシャルワーカーは週何日・何時間・年間どのくらい、夏休み中予定していなかったものが出たという事だがどのような仕事なのか。
	教 育 長	スクールソーシャルワーカーは不登校対策が主である。日南町の場合はそれだけでなく、こども支援会議にも出ている。2人体制で1日6時間の週30時間となっている。担任の指導力が十分でないところを補ってもらっている。
	委 員 長	無いようなら承認しても良いか。

<p>その他</p>	<p>委員 委員長 教育長 事務局 教育長 委員 委員長 事務局 教育長</p>	<p>はい。</p> <p>日程第1議案第41号について承認する。</p> <p>1点目は平成24年度事務事業の点検評価についての中間的まとめの報告。2点目は社会教育の活性化で、社会教育委員会を中心として議論をしているがその中間報告。3点目は日野高校の在り方を考える協議会の中で、関係機関への要望をしようと考えているがその経緯について報告。以上について説明する。</p> <p>まず事務事業の点検評価の中間まとめである。学校教育の方では、計画どおりに進んでいる。学力向上推進にも力が入っており、教員の力量を高める動きが進んできている。保護者研修も実施している。社会教育については、図書館関係で新しいシステムの導入をした。文化センターでは、舞台照明設備の改修を行う予定になっている。社会教育の推進については、社会教育委員会議の充実という事で力を入れている。社会教育委員会議は例年だと年に1, 2回だったが、今年度は今まで3回行っている。今後回数を重ね更に話を深めていきたい。これについては、社会教育推進のための提言としてまとめていきたいと考えている。社会教育委員会議の進捗状況について、公民館がなくなって以来、地域に居た社会教育専門の人間が居なくなっている。推進を図るためには、人的支援・財政支援・社会教育に対する意識改革という事を進めていく必要があるという意見が出ている。このような事をきちんとまとめていきたい。</p> <p>今回の中間まとめは教育委員の皆さんに、担当レベルでは現状を大体こんな見方をしているという報告である。少し控えめな評価になっている。委員会等の時に発言の参考にしてもらえればと思う。</p> <p>社会教育委員会が形骸化している事実があり、社会教育の推進を活性化するために努力しているわけだが、それに対して社会教育委員自体はどういう認識・反応を示しているのか。また今現在で我々が期待している方向が見えていれば教えて頂きたい。</p> <p>町内の様子を話し合う事によって認識が深まり、町全体に目を向けた考えが出てきている。社会教育委員がどういうものなのかという事をきちんと認識したうえでの話し合いが出来ている。</p> <p>今の話は社会教育委員の活性化で、我々がやっているのは社会教育の活性化のために社会教育委員も一緒になって動こうという事である。まち協と社会教育の関連性の中でどういう役割を果たさせるかが重要である。社会教育に関わるまち協やグループが動くことによって、町や教育委員会が支援・協力する体制に</p>
------------	--	--

		なってくると思う。そういう形を目指す時である。
委 員 長		法的には教育委員は、示唆したり援助したりする立場ではあるが、現に現場が動いていない状況の中で私が期待するのは、踏み込んで動いて下さる人こそ社会教育委員に委嘱し、力を発揮できる場を作ってほしいということである。
教 育 長		現実を求めるものとして、社会教育委員はこうすべきものだとか、中心になって汗を流すべきだという考え方はなかなか難しい。きっちと理屈なりを理解した上でやっていく環境に持っていかないと、中心になって動くことは無理だと考える。ここまで社会教育が衰退している状況があるので、時間をかけてやっていくべきだと思う。活動をする上で必要なのは、お金と手助けやリーダーを含めての人である。社会教育というものはこの2つが無いと絶対成り立たない。この2つを作るためにもみんなで雰囲気を作ろうというのが、今のステージだと考える。
委 員		地域それぞれに活動はしているが、地域のつながりというものが空々しく感じる。今回の改革にとっても期待している。我々も教育委員の立場で、或は社会教育委員の立場で一緒になって積極的に活動することが必要であると考えている。
教 育 長		現状として、理念や地域を今後どうしていくのかを考えなくても、補助金をもらえ活動が成立してしまう自治組織に変わっている。そこにメスを入れていく為には、社会教育を元の一定の部分で活動できる母体として、育てていく事が重要であり我々の目指すところである。町長の承認を得るにはまだまだ早い状況である。1月がタイムリミットとしてやっていかなければ、25年度の予算はつかない。やはりお金と人がなければ社会教育は成り立たない。
委 員 長		話はよく分かるが、今後新しい組織を作るうえで現実としてまち協との対峙はないのか。
教 育 長		全くないとは言わないが、衰退した社会教育を今後変えていくには致し方ないことで、それを乗り越えていかなければ何も変わらないと思う。現行のまち協の在り方については、町長も多少疑問視をしている向きはある。そこできちっとしたシステム論なり、地域の勢いがなければ改革は難しい。
委 員		委員長が言われたまち協の関係については、私も危惧するところであるが、私の地域においては今のまち協よりも上手くいくと思う。すべてうまくいくかはやってみないと分からない。
教 育 長		日野高校の在り方を考える会の会議は昨年から始まって計5回になる。第4回の協議会では中間まとめをした。協議会として関係機関に要望する新しい動きがある。案文をまとめる段階だが論点が2点。1つは要望先。2つ目は卒業生の雇用について。高校のカリキュラム構成に様々な問題点がある。今後議論していく必要がある。

